

「親ガチャ」一考 ～徒然なるままに～

多治見市教育委員会 教育委員 中澤 香代

「親ガチャ」という言葉をご存知ですか？

2021年の流行語大賞にもノミネートされた言葉で「子供は親を選べない。生まれた家庭によって、その後の人生が大きく左右される」という意味だそうです。この言葉は強いインパクトを持って今も胸で不協和音を奏でています。確かに論文や書籍、日々のニュースの中で、親の最終学歴や収入によって、子どもの受けられる教育内容や体験に差異が生じる事、結果、能力に差が生じるという残酷な内容を目や耳にした方もいるかと思いますが、私はこれを信じません。

子どもを取りまく環境要因と遺伝要因とファクターX。このファクターXに未知の可能性を感じるからです。元もとその子の中に在る宝の才能(私はヨガを学ぶ輪廻転生信望者なので、人は過去生で鍛えたスキルや智慧を携えて生まれてくると思っています)、今生での人のご縁、更には教育こそが大きな変身のファクターXになると思うのです。

天から与えられた今生で、今日の前にある困難に思える問題、事象、人間関係も「今の私にちょうどいい」のです。これは御釈迦様のお言葉。人生の目的を、成功者となる事(何を成功とするかも人それぞれで語り出したら紙面が足りません)とか、財を成す等から「自己の魂を成長させる事」に変えると、成功よりも赤面するような失敗が、幸福よりも不幸に思えた出来事が、お金に恵まれた時よりも困窮した時が、智慧を絞り工夫を凝らした最大の学びだったと思いませんか？皆さん、人生で一番深く学んだ体験はどんな体験でしたか？子ども達には「親ガチャ」という言葉で簡単に諦めて欲しくないのです。

今中を全力で生ききる場を保障し、一隅を照らせる、その内包された財に光を当てる存在で大人はありたい。教育とは引き出すこと。既にそれはその子の中に在るのです。どの子どもも未来の財宝です。幸福であれ。

ありがたい出会い

垂井町教育委員会 教育委員 栗田 直美

「こんにちは。精が出ますね、いつもきれいにしていらっしゃって。」

道ばたの畑で、膝をついて草取りをされているおばあさんに声をかけた。畑では季節の野菜や花が立派に育っていた。そのときは丁度、白やピンク色をした大輪の百合の花が沢山咲いていた。

「良かったらどう、持っていく？」と、ひと抱え分もある百合の花をくださった。沢山のお花を貰ったが、さて、どうしようか考えるのと同時に、我が家のお墓参りに行くことを思いつく。さっそく「〇〇さんに頂いたお花ですよ。」と、墓前にお供えした。とても嬉しくて爽やかな気分になった。

後日、ご近所のお店で買ったお菓子を持っておばあさんの畑へ向かった。

「先日は、沢山のお花をありがとうございました。これ一つ召し上がってください。」と渡そうとした。すると…「こんなことしてもらったらあかんよ。」「これを頂いてしまうと、私の徳が無くなるんよ。」と言われた。「徳が無くなる？」とは、どういうことか。まず、私が気を悪くしないようにと前置きをされてから…じっくりと話してくださった。お礼の品を貰うと、せっかく積まれた徳（お花をあげたこと）が無くなってしまうんだよと、わかりやすく教えてくださった。おばあさんは、常日頃から徳を積む生き方を心掛けておられる。お話をうかがった上で、お花を頂いたおかげでお墓参りに行けた、嬉しかった気持ちをお伝えした。

「じゃあ、今回だけは特別ね…」と、和やかにお菓子を受け取っていただくことが出来た。

普段何気ない生活を送っているとき、相手に見返りを求めている自分がいることに気付くと、あのおきのおばあさんとのやり取りを思い出す。なかなか教えて頂いた通りに生きられていない。まだまだ未熟者で恥ずかしいことばかり。

あおきは、「徳を積む」を実践して教えていただき、ありがとうございました。